

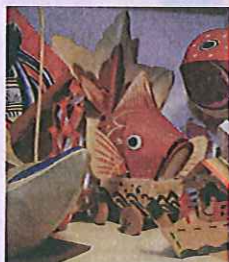
神奈川と日本の夏祭り

2010年7月3日(土)～8月29日(日)

夏本番を迎え、横浜人形の家の所蔵品と市内の郷土玩具収集家のコレクションから夏にちなむ人形をご紹介します。祭りの中でも神奈川県内の祭りや京都の祇園祭、七夕の行事として珍しい長野県松本の七夕人形、鯛車など灯玩具を取り上げ、紹介します。

●松本の七夕人形

七夕人形は、長野県松本地方に独特の七夕習俗で飾られる人形で、紙製または板製の男女一対やカータリ(川渡り)という人形などがあります。カータリは、彦星と織姫が雨で増水した天の川を渡る手助けをするように長い足をしています。



●灯玩具など

金魚ねぶたや、新潟県三条や山口県、島根県出雲などの鯛(たい)や金魚の灯玩具を展示いたします。

●神奈川県内や各地のお祭り

横浜市鶴見区の「蛇も蚊も」、真鶴の貴船祭や、宮城県塩釜神社の御座船など祭りの神輿を玩具化したミニチュアなどを展示します。

1m50cmほどある京都祇園祭の長刀山鉾も展示いたします。



常設展「神奈川と日本の夏祭り展」

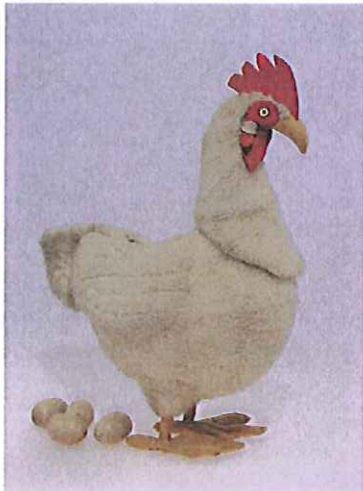
- 期 間：2010/07/03(土)～2010/08/29(日)
- 場 所 横浜人形の家常設展示室 2F
ワールドフェスティバルコーナー、トピックコーナー
- 入館料 おとな(高校生以上)：800円 こども(小中学生)：200円
※常設展のみご覧の方は おとな500円 こども150円
- 開館時間 AM10:00～PM6:30(入館はPM6:00まで)
- 主 催 横浜人形の家
横浜市中区山下町18 電話：045-671-9361

「横浜人形の家」の展示数は増加中です！

「横浜人形の家」では、2010年2月に大幅な展示リニューアルを行いました。

その後も展示する人形の数を増やし、現在3,650点の人形を展示しています。今後も人形の説明文を増やすなど展示の工夫を加え、より充実した展示を目指していきます。

2月以降追加された人形の中から面白いものを3点紹介いたします。



○ニワトリ

20世紀前半、ドイツで作られたと考えられています。

首の部分から卵をいれ、背中を押すと卵を産む仕組みを持っています。

でも実は、立派なトサカがあるのです。

雄鶏の見た目と雌鳥の仕組み、両方を兼ね備えたぬいぐるみです。



○三猿

20世紀前半、アフリカ・ガンビアの木彫です。

日本では、日光東照宮の彫刻で有名な「三猿」ですが、中国の古典に由来し、アジアだけではなく、ヨーロッパやアフリカでも作られています。仕草はおなじみですが、表情などにお国柄が出ています。



○からくり人形・諫鼓鳥(かんこどり)

19世紀後半、江戸時代後期のからくり人形です。

中国の皇帝が意見があれば誰でも太鼓を叩いて知らせようと太鼓を置きますが、善政を行った為、太鼓を打つ者がおらず、ニワトリが遊んでいた、という平和を象徴する故事をからくりにしたものです。

現在、からくりは動きませんが、展示室では下に鏡を置いて、仕組みをご覧いただけるようにしています。